

| 令和 6 年度奈良市精神保健福祉連絡協議会 会議録                                                                                                                                                                                                                    |                                               |       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-------|
| 開催日時                                                                                                                                                                                                                                         | 令和 7 年 2 月 2 5 日（水）午後 2 時半から午後 4 時 3 5 分まで    |       |
| 開催場所                                                                                                                                                                                                                                         | 奈良市保健所・教育総合センター 1 階会議室 1－1, 1－2, 1－5          |       |
| 出席者                                                                                                                                                                                                                                          | 委員                                            | 1 2 人 |
|                                                                                                                                                                                                                                              | 事務局                                           | 1 0 人 |
| 開催形態                                                                                                                                                                                                                                         | 公開（傍聴人 0 人）                                   |       |
| 担当課                                                                                                                                                                                                                                          | 保健予防課                                         |       |
| 議題                                                                                                                                                                                                                                           | 1 奈良市の精神保健福祉の現状と取り組み<br>2 いのち支える奈良市自殺対策計画について |       |
| 議事の概要及び議題に対する主な意見等                                                                                                                                                                                                                           |                                               |       |
| 議事 1 奈良市の精神保健福祉の現状と取り組み                                                                                                                                                                                                                      |                                               |       |
| 事務局から、奈良市の精神保健福祉における適正医療支援及び生活支援について報告。                                                                                                                                                                                                      |                                               |       |
| (委員からの意見)                                                                                                                                                                                                                                    |                                               |       |
| 【宮野委員】                                                                                                                                                                                                                                       |                                               |       |
| 精神保健福祉法の改正で医療保護入院の退院促進に向けた改正があった。入院患者はおおむね 3 か月で退院する傾向にあるが、長期入院患者いわゆる慢性重度の患者の退院促進が難しい。長期入院患者の中には高齢化のため、身体的な問題を抱えている人もおり、地域で支える資源不足を感じながら対応している。また、求められるニーズが複雑で多様化しているため、医療機関だけでなく地域のいろんな機関と協力し合いながら、足りない部分をどうやって作っていくのかという議論をしないとうまくいかないと思う。 |                                               |       |
| 【巽委員】                                                                                                                                                                                                                                        |                                               |       |
| 地域で活動する上で課題に感じている点は、医療を中断しないため訪問看護利用開始時に、医療の必要性を感じてもらえるような関わりをどうするのかという部分である。                                                                                                                                                                |                                               |       |
| 【吉川委員】                                                                                                                                                                                                                                       |                                               |       |
| 自立支援協議会の地域移行グループの活動として、一つ目に令和 5 年度にグループホームの実態調査を行った。結果は、障がい福祉課や相談支援事業所等と共有し、今後の支援に活用していく。二つ目に地域移行・地域定着支援の推進である。コロナ禍で衰退してしまったが、顔の見える関係性をつくるために精神科 2 病院と情報共有や事業をより活用しやすいように過去に作成したハンドブックの改正、話し合いの場を設けている。                                      |                                               |       |
| 【大田委員】                                                                                                                                                                                                                                       |                                               |       |
| グループホームは奈良市内でも増えてきている。B 型就労支援事業所は奈良市では増えすぎていた。選択肢が増えることは喜ばしいが、集団生活の難しさや入所後のトラブル等何かあればホームの責任になるので規制をかけるところもある。生活の場としてこの場所で住み続けるのがしんどいのではと思うこともある。                                                                                             |                                               |       |
| また、地域のヘルパーや相談支援専門員が、状態が不安定な患者と関わってもタイムリーに医療を受けてもらうことが難しい。危機的な状況をキャッチしても何かあるのを待つか、警察を呼んでくださいとしか言えない状況もあり、それでいいのか、それしかないのかととても悩む。今後も医療・保健・福祉の関係機関が本当の意味で連携しどう対応していくか、このような協議の場も含め話し合っていくことが必要である。                                              |                                               |       |
| 【森田委員】                                                                                                                                                                                                                                       |                                               |       |
| 奈良市精神障害者家族会会員アンケートを行った。回収率は 50%。アンケート結果では、会員年齢層は 50 代以上であり、70 代以上は 65%、60 代以上は 85%を占める。家族の困りごとには 8050 問題が如実に現れている。精神障害者保健福祉手帳所持者や自立支援医療受給者は増加しているが、家族会は実態が分かりづらく繋がりにくいと思う。私は保健所の家族教室に参加したことで繋がれたので、家族教室事業の継続はありがたい。                          |                                               |       |
| 地域ではどこにも繋がれていない家庭は少なくない。そのような家庭においては支援者がおらず、当事者をケアしている唯一の家族が亡くなった時、周囲が異変に気づいて発見に至ったという事例が全国的にある。                                                                                                                                             |                                               |       |

そのようなことを防ぐためにも奈良市または他の事業所などで家族の申請による家族のための訪問支援ができないかと考えている。

これまで家族会からも福祉サービスの充実について声を上げていたが、福祉分野だけでは回らない状況になっていると思う。支える仕組みづくりを変えないといけないと思う。退院支援についても、まちづくりとして、新しい仕組みをつくっていかないと将来的にも厳しいのではないかと考える。

#### 【小池委員】

来年度から入院者訪問支援事業を実施する予定であり、今年度は訪問支援員の養成を行った。4月から開始できるように、事業所への委託準備を進めるとともに精神科病院へ説明し、協力をお願いしている。今後は関係機関による推進会議と実務者会議により事業の進め方を議論し、更なる充実を図っていきたいと考えている。

#### 【北村委員】

精神科・心療内科は、奈良県全体で50か所ほどになっている。精神科の敷居が低くなり、気軽に受診できる人が増えた印象はある。以前のような重症な人や緊急対応しないといけない人は少なくなっており、統合失調症患者も相対的に軽症化している。

一方、社会に適応し自立して生活することが難しい経過の人はおり、このような人たちへのアプローチについては、医療・保健・福祉に携わる支援者だけではなかなか解決できない。そのためより幅広く色んな分野の人や関係機関を巻きこんで支援していかないと患者の自立した生活には至らないと考える。

### 議事2 いのち支える奈良市自殺対策計画について

事務局から、奈良市の自殺の現状、第1次計画の評価及び第2次計画の方針について報告。

#### （委員からの意見）

#### 【伊東委員】

奈良県の自殺の現状として、令和5年の自殺者数は減少したが、女性はあまり減少しなかった。女性の自殺はコロナ禍のステイホームや雇用等の影響を受けやすかったのではないかと。ただコロナ禍が終わっても女性の自殺者数が減っていないので、一時的なものだと一概には言えない。また、奈良県の19歳以下の自殺死亡率は、令和2年で3.2、令和3年は6.1、令和4年は7.7と増加しており、都道府県別に見るとこの数値は目立っており、今後の大きな課題となってくる。

精神保健福祉センターへの相談では、若者に関する相談が多い。また、教育現場から学生の自傷や死にたいと言われた時にどう受けとめて対応したらよいかなどの研修会のニーズもあり、開催できた。

自殺対策の枠組みだけでなく、幅広い関係部署と連携しながら取り組んでいくことが望ましい。

#### 【森川委員】

いのちの電話へ相談される方は精神疾患の方が多く、特に自殺念慮のある人は精神疾患の方が非常に多い。自殺を考えてしまう理由には、孤独や孤立があり、理由もなく死にたくなってしまうと訴える人も少なくない。

自死遺族相談の啓発として、リーフレット作成や駅で啓発カードの配布を行う予定である。昨年度、自死遺族の集いに10代の子どもを自死で亡くした家族が例年になく多く訪れており、若者の自殺が増えていることを実感している。

#### 【神澤委員】

自殺は単独の要因では起きない。重なる要因の中で多いのは、健康、金銭、家族、仕事、男女関係が挙げられる。そのうち5割以上は心や体の健康に問題があるので、心と身体を守れたら自殺は間違いなく減る。また、女性の自殺は確かに増えている。コロナ禍が終わっても軽視できる問題ではなく、危機的な状況の女性はたくさんいる。医療機関へつながる前に相談ができる場所が増えたらよいと思う。地域に居られる民生委員のような方が相談の窓口となってもらえたらと思う。最近、民生委員から講演依頼が増えており、良い傾向と思う。

私が一番懸念している層は、子ども・若年層である。マスコミが、昨年全国で527人の小中高校生が亡くなったと取り上げた。コロナ禍が始まった令和2年は100人単位で増えている。若年層対策は至急強化され

るべき課題である。奈良県教育委員会と協働して、中学生向けの SOS の出し方教育の資料を作成し、中学校はモデル校を決め、高校は奈良県の全県立高校で実施した。今後も継続してほしいと考えている。

子どもたちへの心の健康教育を自殺予防教育という視点で普及啓発・教育活動を積極的に進めることが、奈良市の目標である自殺者を限りなくゼロにすることへの対策ではないかと考える。

**【森田委員】**

SNS 発信などの啓発について年間通してできるとよい。しんどい思いをしている人が、偶然メッセージを見つけて心の拠り所となるどこかに繋がるかもしれない。

中学校・高校よりもっと小さいうちから自分の生きる価値を伝えるような教育の場が必要だと思う。自分自身も周囲の人も大切な存在で、しかし誰しも人は違うということを小さいうちから学ぶ機会が必要である。親子参観などで、親も学べれば親も救われるのではないか。

**【神澤委員】**

自己肯定感が高まるような子ども達にしておく、むやみに命を失くしてしまおうとは思わないだろう。普及啓発はまさに教育だと思うので、強化していくことは、ひいては自殺対策に繋がる。